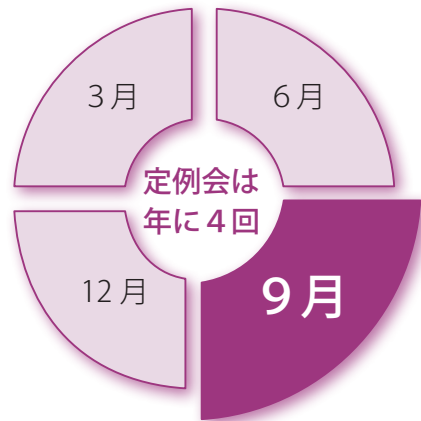




作品タイトル「悪戯なパーティ」

作者／中谷 野乃華さん(青森県立田名部高等学校 3年生 美術部)



**第27号**  
令和5年10月号

令和4年度決算	…… P 2
第257回(9月)定例会議案審議	…… P 4
常任委員会活動報告	…… P 5
一般質問	…… P 7
審議結果および賛否一覧	…… P10
使用済燃料中間貯蔵施設に関する調査検討特別委員会	…… P11
お知らせ	…… P12

# 令和4年度むつ市一般会計歳入歳出決算ほか 各会計決算議案を可決・認定！

令和4年度の一般会計・特別会計・水道事業会計・下水道事業会計の各決算等を審査する決算審査特別委員会（議長及び議会選出の監査委員を除く全議員20名で構成）が設置され、9月6日から8日までの間に開催されました。

審査結果は、一般会計歳入歳出決算及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について、それぞれ委員1名より反対討論がありましたが、賛成多数で認定すべきものと決定し、ほかの特別会計歳入歳出決算等については、全会一致で可決・認定すべきものと決定いたしました。

## ◎一般会計歳入歳出決算

歳入	407億5,017万8,759円
歳出	397億9,996万3,942円
差引	9億5,021万4,817円

※翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた  
実質収支（黒字）額は、9億496万7,899円

## ◎むつ市健全化判断比率

実質公債費比率	14.1（25.0）%
※昨年度決算	15.0（25.0）%
将来負担比率	124.4（350.0）%
※昨年度決算	122.3（350.0）%

※（ ）内の数字は、むつ市の早期健全化基準を示す  
※実質公債費比率：その年に負担すべき借入金の返済額の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの  
※将来負担比率：借入金も含めた負債全体の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの

## 決算審査特別委員会

### 付託議案の主な質疑

#### ◎一般会計歳入歳出決算

##### ○歳出について

##### 総務費（企画費）

問 ふるさと納税寄付額が減少した要因について。

答 人気返礼品の原料不足と、返礼品取扱事業者の廃業等で返礼品の数が減ったこと、また効果的なweb広告を行えていないことが要因と考えている。

総務費（再生可能エネルギー推進費）

問 地熱発電見学会の詳細と燧岳周辺地域地熱開発事業の進捗状況について。

答 見学会参加対象地区は、燧岳近隣地区の大畑町木野部地区と赤川地区としているほか、風間浦村の下風呂温泉関係者も関心があるということで対象としている。見学先は、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構が地熱モデル地区として指定する岩手県八幡平市と秋田県湯沢市となっている。工事の進捗状況は、令和3年度の豪雨災害

により工事は一時中断していたが、令和4年度で2本目の試験が完成し噴気試験を行った。結果は、熱は確認されたが酸性が強めで発電事業に大きな障害になるということで、なお調査が必要であり、今年度も継続している。

##### 総務費（庁舎建設費）

問 大畑庁舎移転事業の工事請負費で約1600万円の不用額の内訳と、防災倉庫が大畑庁舎駐車場に置いてあるが今後移動はするののか。

答 不用額の内訳は型押しアスファルトの減額で約1200万円、残りは入札残となっている。また、防災倉庫は、防災用品の置き場所を今後検討した上で移動を検討する。

##### 総務費（市税等徴収費）

問 市たばこ税が約4000万円増収となった要因について。

答 税率改正により税額が増えたことや、人流増加により市内での消費が増えたことによるものと考えている。

##### 民生費（扶助費）

問 扶助費約3億3000万円が減額補正された要因について。

〔答〕 人口減少に伴う、被保護者数及び入院患者数の減少が大きく影響している。

**労働費(労働諸費)**

〔問〕 離職者生活・再就職支援事業での再就職者数と市外への就職者数について。

〔答〕 多くはアツギ東北の離職者であるが、7月31日現在で292名が再就職しており、未就職者は3名となっている。また、市外への就職状況は把握していないが、市で開催した合同企業説明会におけるアンケート等では、多くの方が市内か近隣町村への希望であったことから、市外あるいは県外への就職者は少ない状況と推測している。

**土木費(道路新設改良費)**

〔問〕 私道等整備補助金の申請件数と、その内訳(大畑、川内、脇野沢地区の申請)について。

〔答〕 令和3年度の問い合わせ件数は8件で、そのうち4件が申請となり、4件全てむつ地区からの申請となっている。

**土木費(河川改修費)**

〔問〕 予算の約半分ほどが不用額となっているが、安全対策は行われているのか。

〔答〕 当初、盛土の安全性、把握調査と合わせて対策工事の検討設計及び対策工事に要する測量費、用地の保証調査費を入れた計画であったが、地権者と交渉した結果、理解を得られなかったことから、詳細設計を減額したものであり、現在は県と協議の上、進めている。

〔問〕 盛土緊急対策事業で市内で対象となる件数について。

〔答〕 対象は4件で、令和4年度の調査結果及び令和5年度に施行された宅地造成及び特定盛土等規制法をもとに、今後の方策について国、県と協議を重ねている。

**教育費(学務管理費)**

〔問〕 要保護、準要保護児童生徒の割合についての見解は。

〔答〕 この制度は、経済的に困窮している方に対して教育を広く保障したり、等しい教育を提供することを目的とした制度である。市では、保護者からの申請を受けて適切な対応をとっているため、割合の多寡については一概には言えないと考えている。

**教育費(体育施設管理費)**

〔問〕 大畑中央公園の修繕費がないのはなぜか。

〔答〕 指定管理により、30万円以下の修繕は指定管理者が修繕する規定となっているが、この範囲での修繕であったため。

**教育費(義務教育振興費)**

〔問〕 ジオパーク体験活動推進事業の内容について。

〔答〕 市内全小中学校において、ジオパークに象徴される豊かな自然や地域に根差した文化、伝統の地域資源について学ぶ事業で、体験場所はちぢり浜、北部海岸、仏ヶ浦、薬研、鯛島、尻屋崎等となっている。

**諸支出金(公営企業費)**

〔問〕 むつ総合病院に対する債務負担行為の残額について。

〔答〕 約20億7000万円となっている。

**〇歳入について**

**その他**

〔問〕 原発関連交付金の詳細について。

〔答〕 電源立地地域対策交付金については、発電用施設の設置や運転の円滑化を図るため、電源地域の都道府県及び市町村で実施される公共用の施設や地域住

民の福祉、利便性向上を目的とした事業に対して交付されるもので、令和4年度の国交付分は14億9562万7497円、県交付分が1億4500万円となっている。青森県核燃料物質等取扱交付金は、原子力発電施設等の立地市町村及び周辺市町村に対し、市町村が実施する防災安全対策、民生安定対策、地域振興策に関する事業を対象に県から交付されており、令和4年度は3億1506万円となっている。これらを合わせると、19億5568万7497円が交付されている。

**◎後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算**

〔問〕 令和4年10月より、一定以上の所得がある被保険者の窓口負担が1割から2割に見直されたが、これにより影響を受ける人数等について伺う。

〔答〕 被保険者の12・2%、1102名の方が1割から2割負担に変更となっている。影響額については、運営主体が広域連合であること、また、年度により加入者や受診状況に相違があることから把握していない。

# 第257回定例会

令和5年8月22日～9月15日

むつ市議会第257回定例会が去る8月22日から9月15日までの25日間の会期で開かれました。

今定例会には、17議案6報告が上程され、審議の結果、それぞれ可決・認定・承認・報告されました。

## 議案審議での主な質疑

【議案第66号】むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 議員報酬1万4000円増額の根拠を伺う。

答 市議会議員等の特別職の給料・報酬については、平成9年度の改訂後20年以上据え置かれており、この間に賃金・物価の上昇等の経済情勢や地方自治法を取り巻く状況等が大きく変化していることを踏まえ、むつ市特別職報酬等審議会に諮問し、審議会からは、議員報酬が県内の類似団体と比較しても低い状況にあることを踏まえ、報酬を引き上げる内容で答申があった。市としては審議会の意見を尊重して、今定例会に提案した。

【議案第70号】令和5年度むつ市一般会計補正予算

(13億7140万6000円の増額補正)

問 むつ市Uターン就職等推進事業費の詳細について伺う。

答 むつ市への移住を後押しするとともに、地域内企業の人材の確保を目的とする2種類の支援金を交付する事業である。1つ目はむつ市移住支援金で、むつ市へ転入する直前の10年間のうち、通算5年以上を東京23区内に在住または、通勤していた等の要件を満たし、県が運営する企業サイトに掲載されている企業に就職する場合等の要件を満たす方で、むつ市や近隣町村に就職する場合、単身には60万円、世帯には100万円、子育て世帯への加算として子ども1人当たり100万円を交付する事業である。2つ目はむつ市医療・福祉子育て世帯移住支援金で、むつ市に移住する直前10年間のうち、通算5年以上県外に居住し、18歳未満の養育する子ども等を連れ、むつ市に移住し県内の医療機関・福祉施設に医療福祉職として就業する場合又

は、医療福祉職資格を得るために県内の機関に就学する場合に100万円、子育て加算として子ども1人当たり100万円、ひとり親家庭にはさらに100万円を加算し支給するものである。

【議案第73号】令和4年度むつ市一般会計歳入歳出決算

問 マイナバーカード制度に係るシステムの提供・維持・管理等に関する委託先、委託内容、委託金額について伺う。

答 システム構築、保守等の委託先については、富士フィルムシステムサービス株式会社東北支店、日本電気株式会社青森支店、NECフィールディング株式会社、株式会社エスプー、グローバルの4者となっており、委託内容はコンビニ交付システム構築業務委託、マイナバーカード申請支援等業務委託、マイナバーを管理している住民情報システムの保守管理業務及びシステム改修に係る業務委託等で、委託金額総額は、1億5668万2660円となっている。

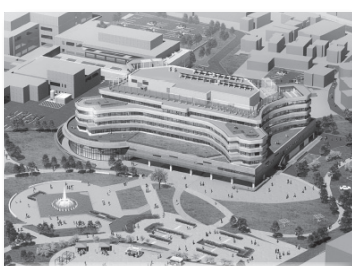
問 実質収支が約9億円となった

## 主な要因は。

答 過去最大の黒字決算となった主な要因は前年度と比較し、歳入では決算剰余金が約3億4000万円の増、徴収率の向上等による税収1億2000万円の増となり、歳出では除排雪経費が約1億7000万円の減、児童福祉費などの扶助費が1億8000万円の減となったほか、総じて歳入歳出全般において、財政健全化に向けた取組を進めた結果、収支の改善につながったものと考えている。

問 むつ総合病院新病棟建設等の大規模事業が予定されているが、収支の見通しは。

答 建設事業に対しては国の補助金等を有効活用するとともに、普通交付税措置のある有利な起債を活用するなど、後年度の負担が軽減されるよう画一的に進めていく。



新病棟完成イメージ

## 常任委員会

### 付託議案の主な質疑 【総務教育常任委員会】

○9月6日付託議案審査

付託された2議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、議案第66号については反対討論があったが、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定し、ほか1議案については、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

**議案第66号** むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

**問** むつ市特別職報酬等審議会の審議内容について。

**答** 諮問事項として市長及び副市長の給料の額、議員報酬の額、給料及び議員報酬の額を改定する場合の改定時期並びに政務活動費の存否の4点について審議していただいたが、審議会からは、議員報酬が県内の類似団体と比較して低い状況にあること、また、賃金及び物価の上昇といった経済情勢等も踏まえ、議員報酬を



配備される給食配送車両イメージ

引き上げる内容で答申がなされた。また、審議会を定期的で開催し、特別職の報酬等の妥当性を判断することが望ましいとの付帯意見があったことから、今後は数年に一度といった形で定期的で開催する。

**議案第67号** 財産の取得について（学校給食配送車両）

**問** 今夏のような猛暑に対応した冷蔵・冷凍機能について。

**答** 給食配送車は温かいものと冷たいものを同時に運ぶことから、常温を維持できる保冷車を選択しており、一方でそれぞれの献立に最適な温度で配送するため、調理後の温度変化が極めて少なくなるよう高機能の食缶を活用する。

### 【産業建設常任委員会】

○9月6日付託議案審査

付託された2議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

**議案第68号** 特定事業契約の一部変更契約について（仮称）田名部まちなか団地整備事業）

**問** 物価変動による契約金額の増額の想定について。

**答** 当初予算の編成段階において、物価上昇価格を最大4億2000万円と想定していたが、結果として今回の増額にとどまった。

### 【民生福祉常任委員会】

○9月6日付託議案審査

付託された1議案について関係部長等の出席を求め審査を行い、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定した。

○所管事務調査

- ・当市における児童虐待の現状と、防止の取組について
- ・障がい者の自立と社会参加の現状について

## 行政視察

総務教育・産業建設・民生福祉の各常任委員会では7月4日から7月14日の期間中に、それぞれ行政視察を行いましたので、概要をお知らせします。

詳しい報告につきましては、議会ホームページに掲載していますので、ぜひご覧ください。

行政視察詳しくは



こちらから↑

### 【総務教育常任委員会】

大分県豊後高田市  
・学びの21世紀塾の取組について

大分県豊後高田市では、学習環境の確保のための取組として、小学生には放課後や土曜日に復習等の学習サポートを、高校生には進路実現に向けて集団授業や個別指導、面接練習等を実施しているほか、幼児への英会話教室や郷土文化体験活動など様々な取組を行っている。これらによって子どもたちの学力の向上が顕著に表れている。この取組には、学校の教職員、教職員OB、学習塾経営者

を始めとして、多くの市民の皆様  
に協力いただいている。

学習機会に格差があつてはなら  
ないという理念に強く共感し、ま  
た、垣根のない幼小中高の一貫し  
た教育の重要性を感じた。市とし  
ても子ども  
たちの更な  
る学びの場  
の確保に努  
めていきた  
い。



豊後高田市での視察

福岡県筑後市

- ・図書館事業について
- ①読書推進の取組について
- ②地域の課題解決きっかけづくりの取組について

福岡県筑後市の図書館では、「生  
活（くらし）」とともにある「図書館」  
をコンセプトとしており、平成30  
年には文部科学大臣賞を受賞して  
いる。

配本サービスの充実など読書推  
進への取組のほか、地域の課題解  
決きっかけづくり事業として、婚  
活事業や認知症カフェ事業、健康  
づくりに係る様々な講座などを開  
催し、利用率の向上に努め、貸出

冊数は10年  
間で3倍に  
増加してい  
る。既存の  
概念から脱  
皮して今後  
の図書館の  
可能性を感  
じさせるものであり、市としても  
図書館という特性をいかした、よ  
り効果的な事業実施に向けた更な  
る調査研究が必要であると感じ  
た。

冊数は10年  
間で3倍に  
増加してい  
る。既存の  
概念から脱  
皮して今後  
の図書館の  
可能性を感  
じさせるものであり、市としても  
図書館という特性をいかした、よ  
り効果的な事業実施に向けた更な  
る調査研究が必要であると感じ  
た。

【産業建設常任委員会】

- 佐賀県唐津市
- ・サバの完全養殖の取組につ  
いて

唐津市では、水産業と地域の活  
性化を目指して、平成24年度から  
九州大学と共同で「新水産資源創  
出研究プロジェクト」に取り組ん  
でいる。

唐津市と  
九州大学で  
行っている  
共同研究の  
内容は大き  
く2つあ  
り、1つは



筑後市立図書館での視察



唐津市水産業活性化  
支援センターでの視察

「マサバの完全養殖技術開発」、こ  
の研究により唐津Qサバが完成し  
ている。もう1つは「養殖業の高  
度化」、儲かるマサバ養殖を目指  
するため、ICTを用いた養殖管理  
システム（労力の軽減と効率的な  
養殖を目的）、新しい餌（魚粉に頼  
らない新しい餌）、早期種苗生産  
技術、ゲノム編集と幹細胞操作に  
よる新品種作成技術の開発を主に  
行っている。

完全養殖のマサバは全国でも非  
常に珍しく、日本で初めて市場へ  
多く流通した完全養殖のマサバが  
唐津Qサバである。

宮崎県都城市

- ・ふるさと納税の取組について

都城市の  
ふるさと納  
税は国の制  
度が始まっ  
た平成20年  
にスタート  
され、開始  
当初はふる  
さと納税へ特に力を入れていな  
かったが、平成25年にふるさと納  
税を都城市のPRツールとして  
（都城市の知名度向上のため）活用



都城市での視察

【民生福祉常任委員会】

- 神奈川県大和市
- ・おひとりさま政策課の事業内  
容について

するため、都城市のふるさと納税  
の大幅リニューアルを行った。そ  
の中で、日本一の農業産出額を持  
つ肉、焼酎メーカー10年連続売上  
高日本一である霧島酒造が都城市  
にあることを踏まえ、肉と焼酎と  
言えば都城市と全国的にPRする  
ため、肉と焼酎に特化したブラン  
ディングを行った。リニューアル  
当初の返礼品は、原則、肉と焼酎  
に限定し、独自の都城市のプロ  
モーション戦略として「選択と集  
中」のコンセプトのもと、対外的  
PRを行った。肉と焼酎に特化し  
たブランディングにより平成27年  
度、平成28年度及び令和2年度で  
寄附額全国1位、全国で唯一8年  
連続寄附額トップ10入りをしてい  
る。

「健康都市やまと」をうたう大和  
市では、外出や社会交流の促進に  
取り組むことが、1人暮らしの高  
齢者、いわゆる「おひとりさま」の  
健康にとって不可欠であるとの判  
断から、おひとりさま政策課を組

織し、「1人になってもひとりぼっちにさせないまち」を目指している。

おひとりりさま政策課では、外出や社交交流を促進し、コミュニケーションを図ることを目的に展開する「おひとり



大和市での視察

さま支援施策」事業と、死後の葬儀や納骨先の確保、相続等の不安の解消を目的に展開する「終活支援施策」事業の2つの事業を行っている。

静岡県島田市  
・eスポーツを活用した介護予防事業について

従来の軽運動等を行う介護予防事業に加え、リアルスポーツに比べて大きな身体活動を伴わない「eスポーツ」を取り入れることで、手指を使う動作による認知症の予防や、プレイ中のコミュニケーションなどを通して、閉じこもり防止やコミュニケーション不足による認知症のリスクの軽減を図り、高齢者の健康増進に活用しようとするものである。

現在はリズムゲーム「太鼓の達人」等のタイトルを活用し、体験会や出前講座、また、子供から大人まで幅広く楽しむことができる。多世代間交流体験会などを開催している。

人」等のタイトルを活用し、体験会や出前講座、また、子供から大人まで幅広く楽しむことができる。多世代間交流体験会などを開催している。



島田市健康福祉センターでの視察

静岡県焼津市  
・焼津市地域クラブ活動の取組について

少子化による部員、教職員数の減少や、それに伴う教職員の負担の増加、また、多様化する生徒・保護者の活動に対するニーズに対応し、持続可能な活動とするため、平成30年度からの部活動改革を踏まえ、令和3年度より部活動の地域移行を進めている。現在は、休日の運動部の活動を中心に地域移行を進め、相撲クラブや海洋クラブといった地域の特色をもったクラブを含め、12クラブが実施されている。



焼津市での視察

## ここが聞きたい！

# 一般質問

議会ホームページでは、紹介できなかった質問内容や本会義での質問のようす(音声)を公開しています

一般質問のページは



こちらから↑

市民の要望を市政に反映させるための一般質問。各種の行政課題を取り上げて2日間にわたり10人の議員が活発な論戦を展開しました。



無会派  
佐藤 武

**問** 国の原発・核燃料サイクル政策と市の基本的立場について。

**答** 国のエネルギー政策の方針に基づき、原子力・核燃料サイクル政策に対し、協力・推進していく必要がある。特に、使用済燃料の貯蔵能力の拡大・強化に取り組むこととされており、使用済燃料中間貯蔵施設の重要性が高まっていると考えている。

**問** マイナンバーカードの現状と今後の施策について。

**答** 各種証明書のコンビニ交付サービス、「むつ市高齢者無料乗車証AGETHA」事業実施、市民課窓口での申請書作成などを実施している。今後は、デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用した子ども医療費給付制度の医療受給者証をマイナンバーカードの公的個人認証機能を活用し、スマートフォンで表示させるサービスを構築中である。



公明・自由  
住吉 年広

**問** 県道176号線・マエダストア仲町店舗前の信号機設置について。

**答** 県道176号は市内の主要道路であるため交通量が多く、交差する市道から侵入が困難で、新店舗を利用する方の横断が不便である。また、無理な横断による事故を防ぐことを趣旨とした要望が提出され、警察当局も、当該場所は信号機が必要と認識し、令和5年度中に工事が完了する予定であると確認している。

**問** 不法投棄対策の監視カメラの導入について。

**答** 監視カメラには不法投棄防止、抑制の効果があるものと認識している。現在、借り受けた監視カメラ1台だけで監視をしているが、カメラに死角が生じ、またカメラを撤去した後には不法投棄が再発しているケースもあり、今後は市独自で複数台のカメラの導入を検討する。



自民クラブ  
濱田 栄子

**問** クロマグロの漁獲可能量拡大に向けた取り組みについて。

**答** 2004年より国際委員会において、資源量の回復目標を定めた上で各国の年間漁獲可能量が決定されている。本年7月の国際委員会の会議では、資源の回復が目標準より早期に達成の見込みであることから、漁獲可能量拡大の議論が期待される。

クロマグロは当地においても重要な水産物であり、漁業協同組合から漁獲可能量拡大について意見・要望を頂いた際には、機会を捉えて国・県に対して生産現場の切実な声をしっかりと伝えていく。

**問** 各分庁舎の機能強化について伺う。

**答** 市長公約には「林業・漁業・農業・畜産業による若者定着」及び「川内・大畑・脇野沢の地域活性化」を掲げており来年度の組織改革に向け総合的に検討を進めている。



無党派  
工藤 祥子

**問** 市による自衛隊への若者の名簿提供と本人の同意、また個人情報保護法について。

**答** 市では、自衛官募集事務を担う自衛隊青森地方協力本部から募集対象者情報の提出依頼を受け、情報を提供している。今年度は855名分を提出。自衛隊法第97条第1項に基づき事務であり、法令上、特段の問題を生ずるものではないと認識しており、本人の同意は必要ないと考えている。

**問** 「図書室（分館）の充実を」の声がある。利用者を増やす取組について。

**答** むつ市立図書館は、本館と川内・大畑・脇野沢等の分館図書を積載し本館から遠方の地域を巡回する移動図書館車と構成。より多くの皆さまに分館を利用頂くために、インターネットで検索、予約し数日後に分館で受け取れるサービスや移動図書館車の巡回先の新設等努力している。



自民クラブ  
佐藤 広政

**問** 大湊地方隊改編検討報道に対する市長の所感は。

**答** 先般の大湊地方総監の廃止及び大湊地方隊の横須賀地方隊への統合が検討されているとの報道に対する率直な気持ちとしては「残念だ」と感じている。

当市は「自衛隊の街」として、これまで海上自衛隊と共に歩んできた歴史もあることから、地域の思いをきちんと伝えなければならぬとの思いで去る8月18日、市、市議会、むつ商工会議所、むつ自衛隊支援団体連絡協議会、下北建設業協会の5者により、浜田靖一防衛大臣へ大湊地方総監の継続配置及び大湊地方隊の体制維持・強化について要望した。なお、浜田防衛大臣からは、「大湊基地の重要性は変わらない」「丁寧な議論してまいりたい」との回答をいただいている。





公明・自由  
鎌田ちよ子

**問** 未就学児への読書活動のサポート体制について。

**答** とりわけ未就学児については、文字の存在を意識し、日常生活に必要な言葉がわかるようになるとともに、絵本や物語などに親しみ、言葉に対する感覚を豊かにする重要な時期であり、図書館が中心となり、幅広い読書サポートを行っている。

**問** 学校給食室の冷房設備の現状と課題について。

**答** 市内には、自校調理場が9か所、給食センターが3か所あり、そのうち冷房設備は、一部の施設に設置している。

外気温が高い夏場は、常に適温であるとは言いがたく、調理員の体調には常に留意している。今後、(仮称)むつ市防災食育センターが完成し、給食機能が集約されると、より高い品質と安全を担保できると考



市誠クラブ  
東 健 而

**問** 国会でのLGBT法案の成立について市長のご認識は。

**答** LGBT理解増進法は、性的指向及び性自認の多様性に寛容な社会の実現に資することを目的に制定されたものであり、すべての市民は等しく基本的人権を享有するかけがえない個人として尊重されるべきものであり、不当な差別をなくしていくために必要な法律と認識している。

**問** 児童生徒へのLGBT教育の導入について。

**答** 各学校ではこれまでも、道徳教育や保健体育の授業、特別活動を通じ、人権尊重の視点から多様性を尊重し、公正で公平な社会実現に積極的に努めようとする心や、人との関わりの大切さについて指導している。LGBTについても、多様性を理解し、自他を尊重する心情を育てるうえで重要な事柄であると考えている。



市誠クラブ  
佐賀 英生

**問** 冠水地域の対策及び排水車・排水ポンプについて。

**答** 浸水想定地区等を想定し、冠水しやすい場所は現地を確認し、基幹水路の機能確保のため修理や泥上げなど、維持管理を実施するとともに、土嚢を補完し対策を講じている。排水車・排水ポンプについては、排水車の購入や災害時における資機材リースの協力に関する協定の活用も含め、効果的な対策について検討していく。

**問** 本年度休業した海水浴場について。

**答** 開設に当たっては、事故の発生を未然に防止するため遊泳監視員を複数人配置する必要があることから、民間事業者に監視委託を行ってきたが入札参加者がなく休業となった。来年度は開設までのスケジュールを見直し業務委託以外も検討して行きたい。



自民クラブ  
浅利竹二郎

**問** 人口減少を含め、近年の社会の大きな変化に対し、市民一人ひとりがどのように向き合っていくべきか。

**答** 人口減少の課題は、行政の力だけでは決して達成できるものではなく、市民皆様一人ひとりが、地域の仕事や活動に参加する機会を増やし、力を合わせて考え、行動することで、よりよい社会が形成される。その活動を次の世代、そのまた次の世代へ引き継ぐことで、このまちで生まれてよかった、と感じていただけるむつ市となる。

**問** マイナンバーカードに種々の不具合が指摘されている。むつ市はどのようにして信頼を確保しているか。

**答** 国の責任において確実に総点検を実施し、早期に再発防止を示す必要がある。むつ市では、紐付け誤りや、コンビニ交付での誤交付などは確認され



新しい風  
山田伸

**問** むつ市内に本社又は支店がある中小企業に限定して発注する入札制度について。

**答** 令和4年度における契約の状況は、市内に本店又は支店等がある事業者との契約が65.2%、金額については、54.6%となっている。市内の事業者で履行可能と考えられる案件については、市内に本店又は支店等を有する事業所を指名業者として選定している。

**問** 猛暑による一次産業及び二次産業業者の状況と支援について。

**答** 相談件数は1件あり、農作物全般において高温下での栽培管理に苦慮している状況で、今後の収穫量への影響を懸念する声があった。水産業については、猛暑の影響による海水温の上昇が確認されているが、現在、被害は報告されていない。今後も引き続き被害の把握に努める。

## 第257回定例会審議結果・賛否一覧表

【全会一致で可決・認定・承認した議案等】

※『報』→報告

議案	議案の名称	議決結果
67	財産の取得について(学校給食配送車両)	可決
68	特定事業契約の一部変更契約について((仮称)田名部まちなか団地整備事業)	可決
69	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて(赤松靖氏)	可決
71	令和5年度むつ市介護保険特別会計補正予算	可決
72	令和5年度むつ市魚市場事業特別会計補正予算	可決
74	令和4年度むつ市国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定
76	令和4年度むつ市公共用地取得事業特別会計歳入歳出決算	認定
77	令和4年度むつ市介護保険特別会計歳入歳出決算	認定
78	令和4年度むつ市魚市場事業特別会計歳入歳出決算	認定
79	令和4年度むつ市水道事業会計利益剰余金の処分について	可決

議案	議案の名称	議決結果
80	令和4年度むつ市水道事業会計決算	認定
81	令和4年度むつ市下水道事業会計利益剰余金の処分について	可決
82	令和4年度むつ市下水道事業会計決算	認定
報18	令和4年度むつ市一般会計継続費精算報告書	報告のみ
報19	令和4年度むつ市水道事業会計継続費精算報告書	報告のみ
報20	令和4年度むつ市健全化判断比率について	報告のみ
報21	令和4年度むつ市公営企業会計資金不足比率について	報告のみ
報22	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和5年度むつ市一般会計補正予算)	承認
報23	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	報告のみ

【賛否が分かれた議案】

議案	議案の名称	議決結果	市誠クラブ			自民クラブ				未来への轍			公明・自由		新しい風		会派に属しない議員							
			佐賀英生	東健而	野中貴健	浅利竹二郎	佐々木肇	大瀧次男	濱田栄子	佐藤広政	藤田鉄哉	岡崎健吾	佐々木隆徳	富岡直哉	村中浩明	鎌田ちよ子	白井二郎	住吉年広	山田伸	富岡幸夫	井田茂樹	佐藤武	工藤祥子	杉浦弘樹
66	むつ市議会議員の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
70	令和5年度むつ市一般会計補正予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
73	令和4年度むつ市一般会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	令和4年度むつ市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議決日は議会最終日の9月15日

(ただし、議案第69・70号、報告第18・19・22・23号は9月6日に議決)

※○は賛成、●は反対、『欠』は欠席または採決の際に不在の者、議長(大瀧次男)は採決に加わらない

★なお、各議員の会議への出欠状況についてはむつ市議会ホームページに掲載しています →→→



## 使用済燃料中間貯蔵施設に関する調査検討特別委員会

第10回審査が9月8日に開催されました。

### ○審査の概要

保安規定の認可取得について、リサイクル燃料貯蔵株式会社（以下RFS社）より報告されたことから、その内容について市から説明を受け、質疑応答を行いました。

また、委員会では、現在の特別委員会は現委員の任期（令和5年10月15日）での解散となるが、中間貯蔵事業の進捗はいまだ決着をみていないことから、引き続き特別委員会での調査・審査が必要であるとの意見を決定しました。

### ○主な質疑

**問** 事業開始時期について、これまで2023年度だったものが、2023年度下期から2024年度上期と後ろ倒しになったが、親会社と協議したもののなか。

**答** 東京電力ホールディングス株式会社（以下東京電力）及び日本原子力発電株式会社（以下日

本原電）に確認の上での明示であったと理解している。事業開始時期については、柏崎刈羽原子力発電所の事案を理由に今は見極められないといった中で、少しでも明確化したいという思いで期間を表明したものと受け止めている。RFS社が地域と向き合い、覚悟をもって事業開始の明示に努めたと理解している。

**問** 8月29日に開催された「核燃料サイクル協議会」で、関係閣僚から、宮下知事に対して「むつ中間貯蔵施設の事業開始について地域をあげて協力していただきたい」という発言があったが、今後の安全協定締結の手続きを含めてどのように取り組んでいくのか。

**答** 速やかな事業開始に向けて、国から事業への理解と協力について引き続き推進していくことを求められていると受け止めている。市民の皆様の安全・安心の確保に大きく寄与することとなる安全協定締結のプロセスについて、県及び事業者としっかりと連携し、着実に進めていきたいと思いを強くしている。

**問** （仮称）エネルギー共生・協創会議が設置された場合、立地市としてどのようなスタンスで臨んでいくのか。

**答** 核燃料サイクル協議会において、宮下知事が国、立地自治体、事業者等が一体となり、地域と原子力施設の共生を考える会議体の早期設置を要請し、西村経済産業大臣から、早期に設置したいという発言があった。また、同会議体のメンバーとして、立地4市町村は必ず入るということも伺っており、市としても積極的に参加していきたいと考えている。

**問** RFS社の高橋社長に対してあえて「共用化という懸念を抱えている」と発言した市長の真意は。

**答** いわゆる共用化案については、これまでの市の見解から一切変わっており、中間貯蔵施設は平成17年にむつ市、青森県、東京電力、日本原電の4者で締結した立地協定によって、2社の原子力発電所から発生する使用済燃料のみを貯蔵するという取扱いとなっており、その協定締結に至った歴史や経緯の重さ

というものを踏まえなければ、協定以外の事業者が参入してくることは案になり得ないものと考えている。

一方で、事実として令和2年12月に国及び電気事業連合会が共用化の検討に着手したという申し入れに当市を訪れたということがあったことから、市民の皆様の中には、このことに対する不安や懸念をお持ちの方もいるものと推察されるため、今回のRFS社からの報告のタイミングで認識を確認した。

### 会議の詳しいやりとりは 会議録をご覧ください！

議会ホームページでは本会議や特別委員会（予算、決算、使用済燃料中間貯蔵施設に関する調査検討など）の会議録を公開していますので、過去の会議でのやりとりが知りたいときなどにご利用ください。

会議録のページは



こちらから↑

# 次回(議員改選後)の臨時会の予定 10月30日(月)

議長・副議長、各種委員など議会の組織を決定します



## 次回定例会の予定 11月28日(火)～12月21日(木)

日	月	火	水	木	金	土
11 / 26	27	28	29	30	12 / 1	2
		議会運営委員会	議会運営委員会			
		本会議(開会日)	議案熟考	議案熟考	議案熟考	
		常任委員会				
3	4	5	6	7	8	9
	議案熟考	議案熟考	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	本会議(一般質問)	
10	11	12	13	14	15	16
	本会議(一般質問)	本会議	議事整理	議事整理	議事整理	
		常任委員会	常任委員会			
17	18	19	20	21	22	23
	議事整理	議事整理	議事整理	議会運営委員会		
				本会議(閉会日)		

### お詫びと訂正

「むつ市議会だより」第26号(令和5年7月25日発行)表紙記事に誤りがありました。

誤) 作者/窪田錬次さん

正) 作者/窪田煉次さん

読者の皆様ならびに関係者の皆様にご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。



### 編集後記

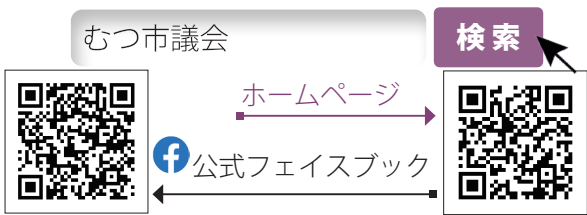
現広報広聴委員会作成の「議会だより」はいかがでしたでしょうか。市民の皆様は議会の様子を分かりやすく、見やすく、手に取っていただける「議会だより」を目指してまいりました。今定例会は、令和4年度の決算審査内容等も含まれておりますので、内容の濃いものとなっております。議会の動きを感じ取っていただけたのではないのでしょうか。

次号からは、新しい広報広聴委員会メンバーが、市民の皆様は議会内容をしっかりとお届けいたしますので、引き続きご覧くださいませよう、お願いいたします。

(佐藤 広政)

むつ市議会の詳しい情報は、「むつ市議会ホームページ」をごらんください。

また、「むつ市議会公式フェイスブック」でも情報をお伝えしていますので、あわせてごらんください。



- |     |       |      |       |
|-----|-------|------|-------|
| 委員長 | 住吉 年広 | 副委員長 | 富岡 直哉 |
| 委員  | 杉浦 弘樹 | 委員   | 野中 貴健 |
|     | 山田 伸  |      | 村中 浩明 |
|     | 濱田 栄子 |      | 佐藤 広政 |

